



2020年11月26日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ ラ ボ ス
代 表 者 名 代表取締役社長 茂木 貴雄
(コード：3908 東証マザーズ)
問い合わせ先 代表取締役副社長 青本 真人
(TEL. 03-5623-3473)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時 2020年11月26日 15:00～16:00

開催場所 双方向によるオンライン・ライブ配信 (Zoom ウェビナー)

説明会資料 2021年3月期 第2四半期決算説明資料

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

以上



2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年11月26日
株式会社コラボス
(東証マザーズ : 3908)

1	会社概要	3
2	決算概要 (2021年3月期_第2四半期)	11
3	中期経営計画の進捗状況	21
4	業績予想 (2021年3月期_通期)	27

(注) 金額については、百万円未満の数字は切り捨てて表記しております。

- 1 会社概要
- 2 決算概要 (2021年3月期_第2四半期)
- 3 中期経営計画の進捗状況
- 4 業績予想 (2021年3月期_通期)

会社名	株式会社コラボス（英語表記：Collabos Corporation）
本社	東京都墨田区押上一丁目1番2号 東京スカイツリーイーストタワー17F
設立年月日	2001年10月26日
資本金	324百万円（2020年9月30日現在）
代表者	代表取締役社長 茂木 貴雄
事業内容	お客様相談室や製品問い合わせ等のコールセンターで利用されるシステムを、企業が手軽に利用できるクラウド型サービスとして提供しています。国内におけるクラウド型コールセンターシステムのパイオニアとして、約750拠点の導入実績を有しています。

コールセンターに必要な不可欠な4つのサービスが主軸。

電話システム

- ・電話をかける+受ける
- ・自動応答
- ・着信の自動振り分け
- ・稼働率把握等のレポート機能



① AVAYA社のハードフォン



② 自社製品のソフトフォン

連携

顧客情報管理システム

- ・対応履歴やお客様情報を記録
- ・検索や履歴の参照
- ・着信時に自動で顧客情報のポップアップ



③ インバウンド（着信）用



④ アウトバウンド（発信）用

4つの主軸サービスに、業務サポート・効率化のための 5つのITソリューションを品揃え

①AmiVoice アミボイス

通話内容をリアルタイムでテキスト化し、見える化する音声認識システム。自動でFAQ表示で応答スピード向上。

②Golden List ゴールデンリスト

企業の持つ顧客データを基に、いつ、誰に、どの商品が売れるかを独自解析し、成約見込みの高いリストを作成。アウトバウンドの費用対効果を高め、収益向上に貢献。

4つの主軸サービス

エニプレイス
@nyplace

 COLLABOS
PHONE

 COLLABOS
CRM

 COLLABOS
CRM OUTBOUND EDITION

③LINEチャット・ボット

当社「COLLABOS CRM」と「LINE」の連携で、チャット機能とAI自動応答機能が可能。作業効率や顧客満足度を向上。

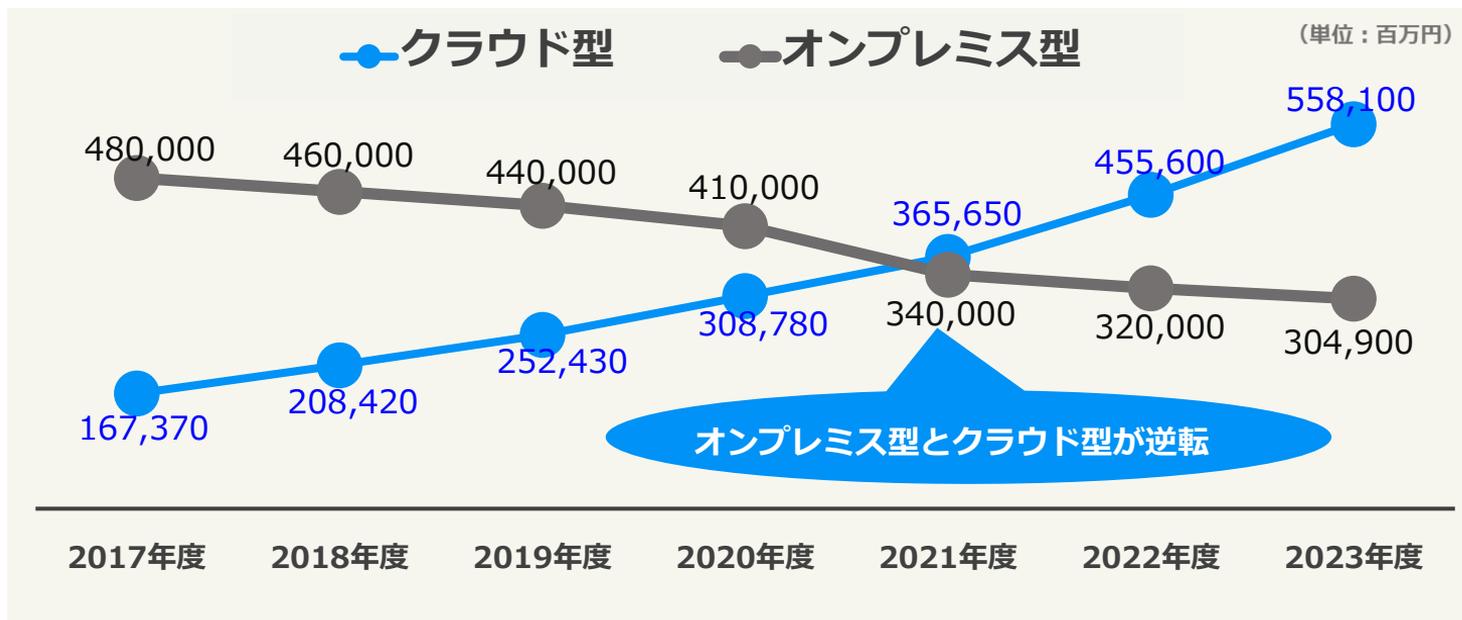
④XCALLY エクスクォーリー

電話/メール/チャット/ SNS等の多様なチャネルに対応するソリューション。企業と顧客のコミュニケーションを最適化し顧客満足度を向上。

⑤BI Motion Board ビーアイモーションボード

コールセンター運営において必要不可欠なデータの集計から分析・改善に至る一連の管理業務の効率化を実現。

コールセンター等で使用するシステムは、従来は自社にてシステムを構築・保持するオンプレミス型が主流であったが、クラウド型への流れが主流になってきている。



出所: 株式会社 ミック経済研究所「マーテック市場の現状と展望2020 <クラウド型CRM編>」(発行: 2020年2月)

クラウド型導入の4つのメリット

初期費用が安い

自社でシステムを保持する必要がないため、オンプレミス型と比べて初期費用が安価に抑えられる。

短納期

オンプレミス型と比べて短期間でコールセンターを構築することができる。

毎月の席数増減に対応

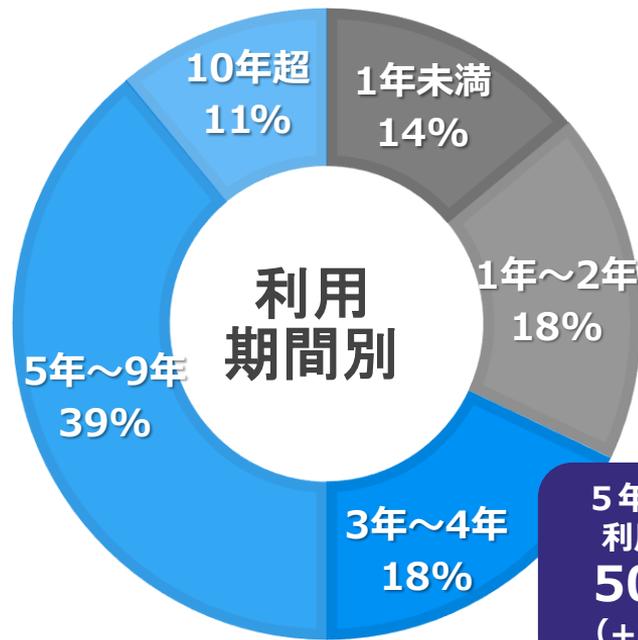
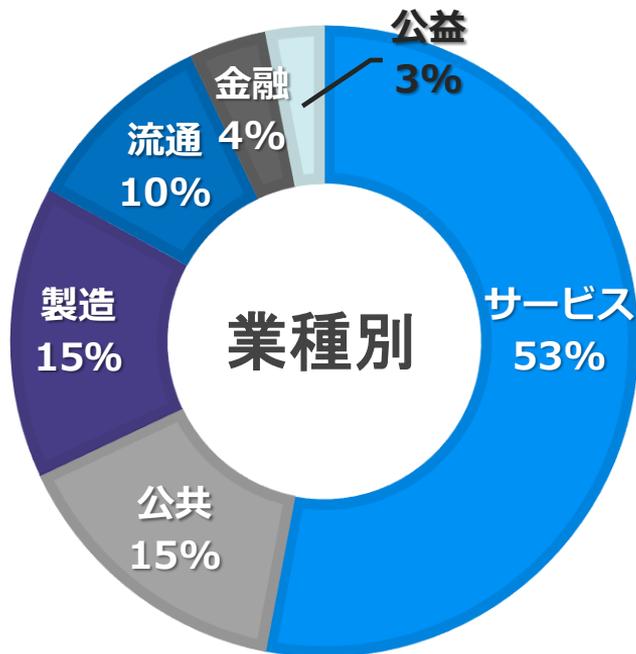
席数の増減に応じて、フレキシブルに対応できる。席数に応じた月額課金制でコストも抑えられる。

保守はお任せ

保守やバージョンアップのための作業員不要。常に最新のサービスが利用可能。

サービス業（主にテレマーケティング、アウトソーシング等）を中心に**幅広い業種で導入**

インフラシステムの為、**年々長期契約**のウェイトが高まっている。



会社概要__導入先企業 (一部)



Your Vision, Our Future



パーソルワークスデザイン



ウィルオブ・ワーク



- 1 会社概要
- 2 決算概要 (2021年3月期_第2四半期)**
- 3 中期経営計画の進捗状況
- 4 業績予想 (2021年3月期_通期)

決算概要(2021年3月期_第2四半期)_ 損益計算書 (サマリー)

第2四半期売上高は**過去最高を達成**。利益は@nyplaceの交換機等の設備の先行投資や中期経営計画の開発費用等の増加により減少。

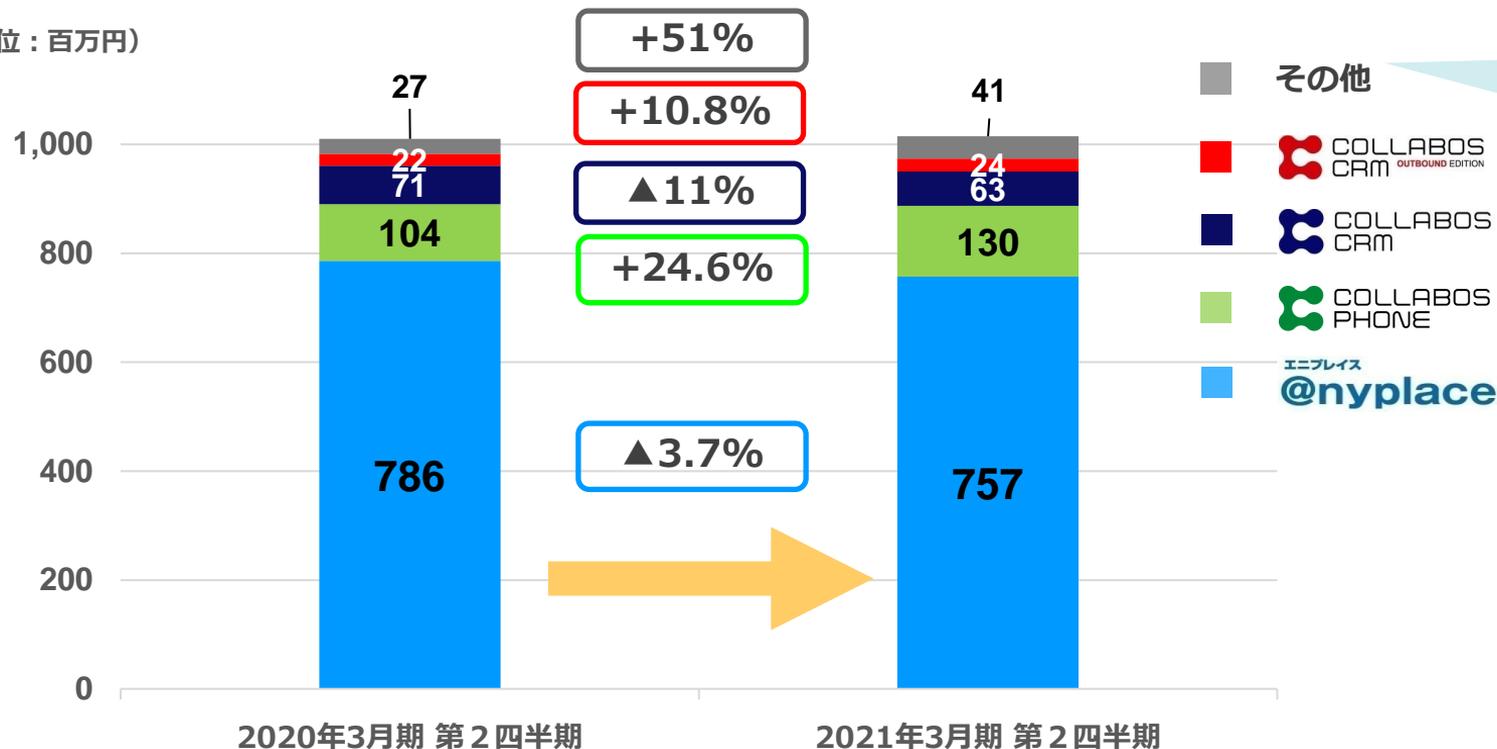
(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比	主な差異理由
売上高	1,012	1,017	0.5%	@nyplace、COLLABOSPHONEの売上高が中心 新規及び既存顧客の業務拡大に伴う拡張や増席
売上原価	571	583	2.1%	@nyplaceの交換機等の先行投資
売上総利益	441	434	▲1.6%	—
販売費一般管理費	341	371	8.8%	中期経営計画の開発に伴う業務委託費の増加 人材関連への投資費用の増加
営業利益	100	63	▲36.7%	—
経常利益	99	65	▲34.1%	非連結子会社の株シーズファクトリーの関係会社株式評価損及び関係会社債権放棄損を特別損失へ計上
当期純利益	44	42	▲3.4%	—

決算概要(2021年3月期_第2四半期)_サービス別売上高比較

「COLLABOS PHONE」及び、「その他」の売上高が前年同期比プラス成長。

(単位：百万円)



決算概要(2021年3月期_第2四半期)_サービス別分析

電話システム関連

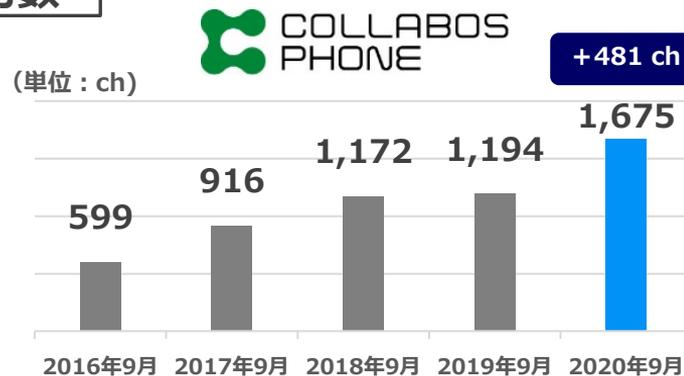


売上高	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比
@nyplace	772	786	757	▲3.7%
COLLABOS PHONE	80	104	130	24.6%

期間平均契約数



コロナ影響に伴う既存の官公庁の案件等の業務拡大によるセンターの拡張や増席はあるものの、前期及び当期の既存顧客の大型案件の終了に伴い、売上高及び、期間平均契約数は前年同期比減少。



大型案件を含む新規獲得及び、既存のコロナ影響に伴う業務拡大により過去最高の1,675ch数を実現。売上高は、+24.6%成長。

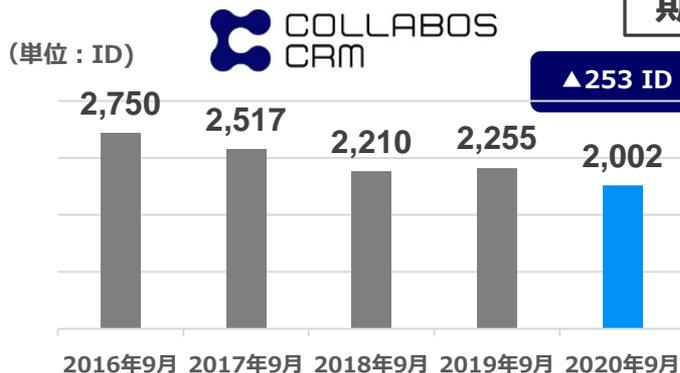
決算概要(2021年3月期_第2四半期)_サービス別分析

顧客管理システム関連

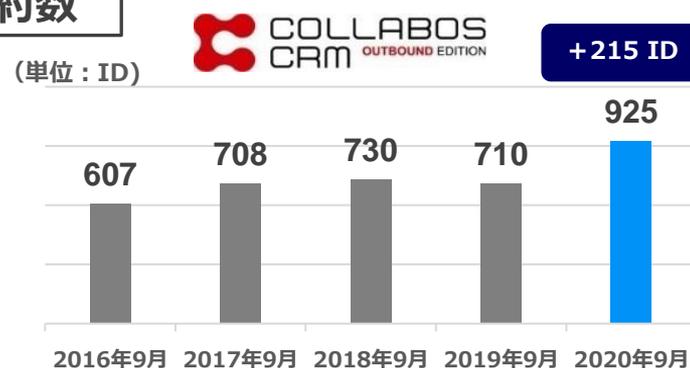


売上高	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比
COLLABOS CRM	79	71	63	▲11.0%
COLLABOS CRM OUTBOUND EDITION	24	22	24	10.8%

期間平均契約数



スポット案件の終了に伴う契約ID数の減少等により、月額単価の減少及び売上が減少。

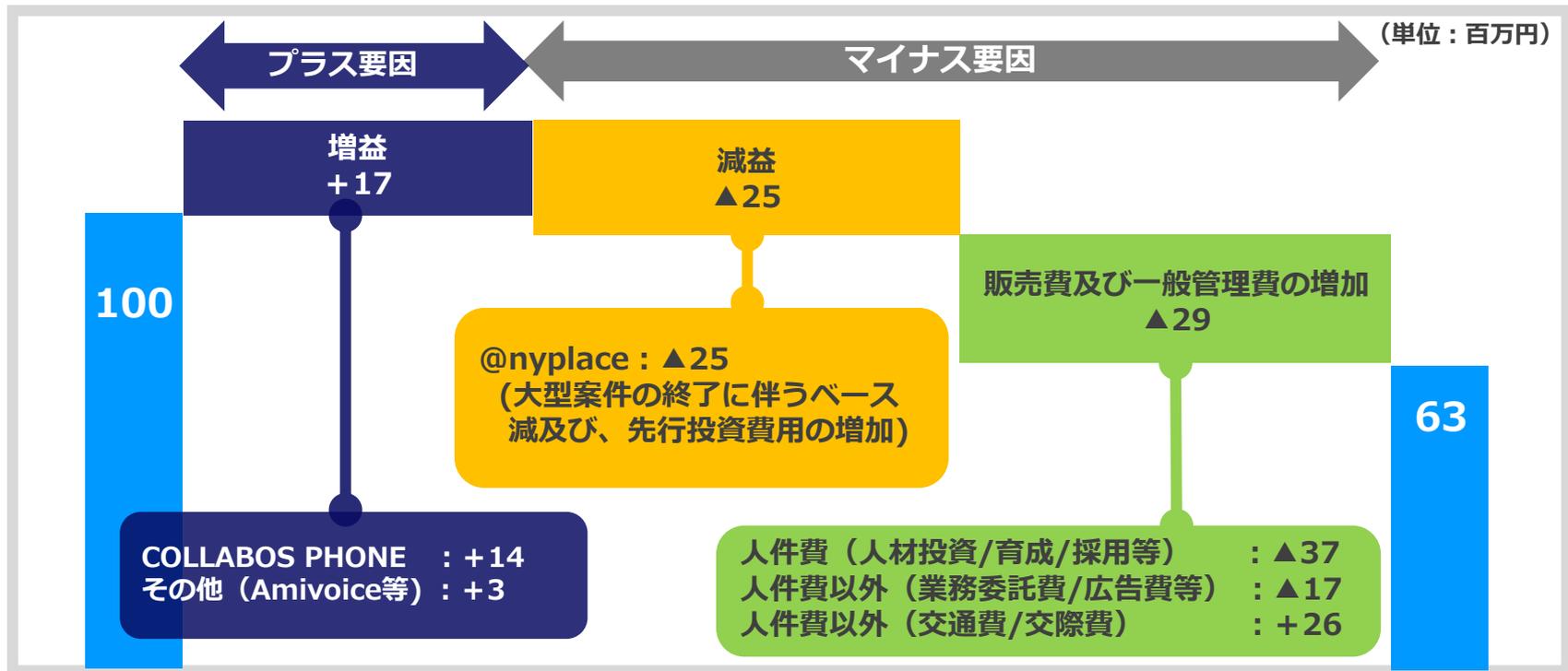


アウトバウンド需要拡大に伴う、大型のテレマーケティング会社の新規導入等により、売上高は前年同期比+10.8%に。全体の平均契約ID数も+215IDとなった。

決算概要(2021年3月期_第2四半期)_営業利益の増減要因



@nyplaceの大型案件の終了及び、先行投資費用の増加により減益。
給与・賞与制度の改定等の環境改善による人件費の増加及び、中期経営計画の開発等に伴う業務委託費が増加。



2020年3月期 第2四半期
営業利益

2021年3月期 第2四半期
営業利益

決算概要(2021年3月期_第2四半期)_貸借対照表 (サマリー)



ROE (自己資本当期純利益率) … **4.8% → 2.3%** (期末比)

自己資本比率 … **77.5% → 78.5%** (期末比)

		2020年 3月末	2020年 9月末	前期末 との差異			2020年 3月末	2020年 9月末	前期末 との差異
資産の部					負債の部				
流動資産		1,833	1,861	+ 27	流動負債	269	297	+ 27	
					固定負債	221	180	▲ 41	
					負債合計	491	477	▲ 13	
固定資産	有形	353	301	▲ 52	純資産の部				
					資本金	324	324	+ 0	
	無形	93	145	+ 52	剰余金 その他	1,527	1,564	+ 36	
	投資 その他	63	59	▲ 3	純資産合計	1,852	1,889	+ 36	
資産合計		2,343	2,367	+ 23	負債及び 純資産合計	2,343	2,367	+ 23	

<2020年3月末との差異要因>

資産増加 (+23百万円)

- 流動資産 : 売掛金の回収に伴う預金の増加。(+27)
- 有形固定資産 : @nyplaceのリース資産、償却に伴う減少(▲52)
- 無形固定資産 : 中期経営計画の開発投資等によるソフトウェア資産等が増加。(+52)
- 投資その他資産 : 関係会社株式の減損処理に伴う減少(▲3)

負債減少 (▲13百万円)

- 流動負債 : 未払消費税等の増加、賞与引当金の増加(+27)
- 固定負債 : @nyplace用設備への投資に伴いリース債務が増加。(▲41)

純資産増加 (+23百万円)

- 利益剰余金が増加。(+36)

決算概要(2021年3月期_第2四半期)_ キャッシュ・フロー計算書 (サマリー)



営業キャッシュ・フロー増加に伴う、フリー・キャッシュ・フロー増加 **+7百万円**

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前期との差異
営業活動キャッシュ・フロー	129	183	+54
投資活動キャッシュ・フロー	▲42	▲89	▲46
フリー・キャッシュ・フロー	86	94	+7
財務活動キャッシュ・フロー	▲52	▲56	▲3
現金・現金同等物 期首残高	1,490	1,576	+85
現金・現金同等物 期末残高	1,524	1,615	+91

<前年同期との差異要因>

営業活動キャッシュ・フロー (+54百万円)

- 未払い消費税及び、未払い金による増加
- 賞与引当金による増加
- 前期において子会社（非連結）の関係会社株式評価損を計上したことによる減少。

投資活動キャッシュ・フロー (▲46百万円)

- 中期経営計画におけるソフトウェア開発等の投資費用による支出が増加。
- COLLABOS PHONEにおけるソフトウェア開発等の投資費用による支出が増加。

財務活動キャッシュ・フロー (▲3百万円)

- @nyplaceにおける設備投資等のリース債務の返済による支出が増加。

- 1 会社概要
- 2 決算概要 (2021年3月期 第2四半期)
- 3 中期経営計画の進捗状況**
- 4 業績予想 (2021年3月期_通期)

戦略① 現有サービスへの新ITソリューション (チャット・ボット・FAQ・SMS) 追加開発

戦略② AI技術を活用した新コールセンターソリューションのリリース

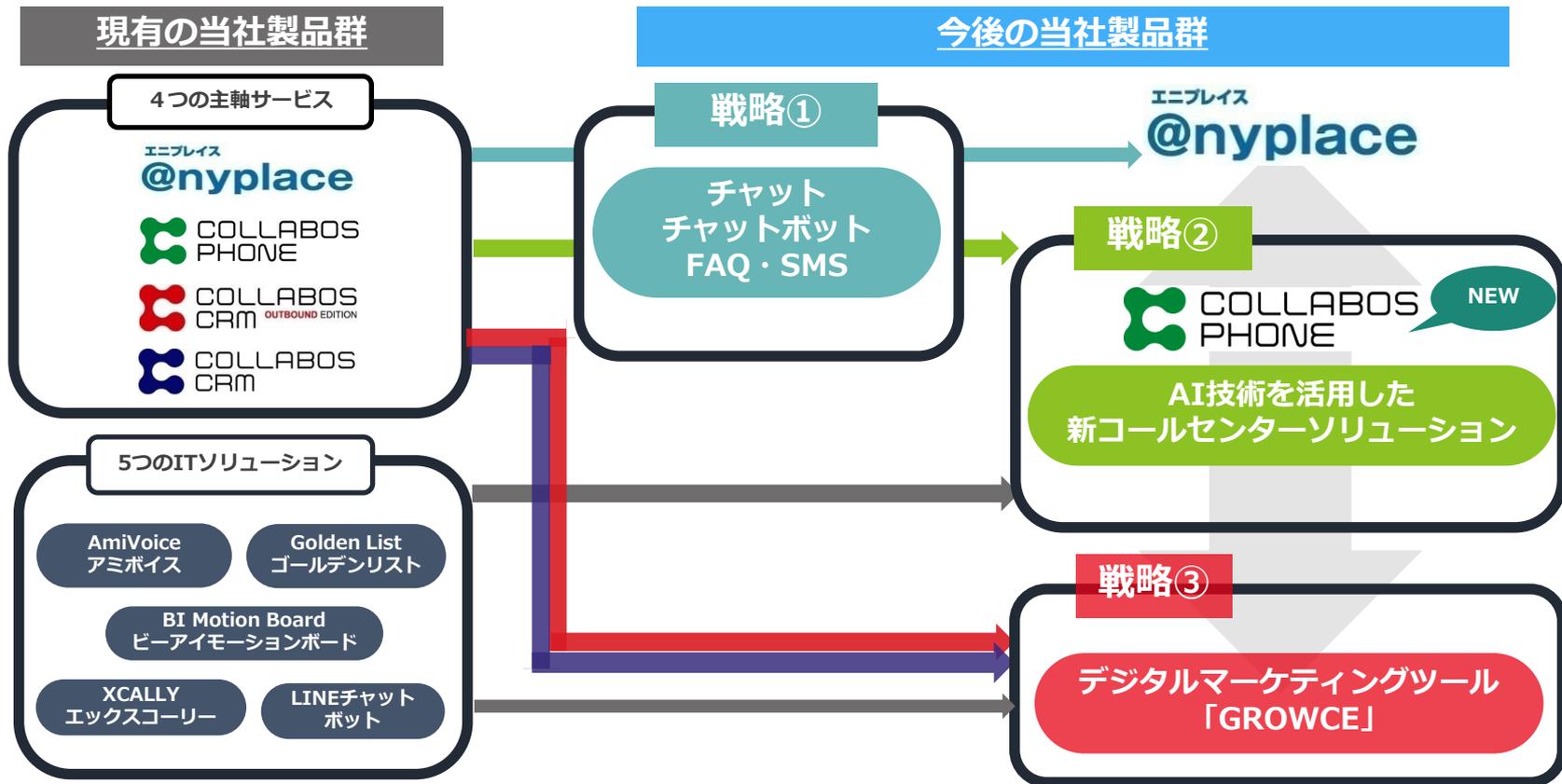
戦略③ コールセンターに集まるデータを活用したマーケティング事業領域への参入



これらのアクションにより

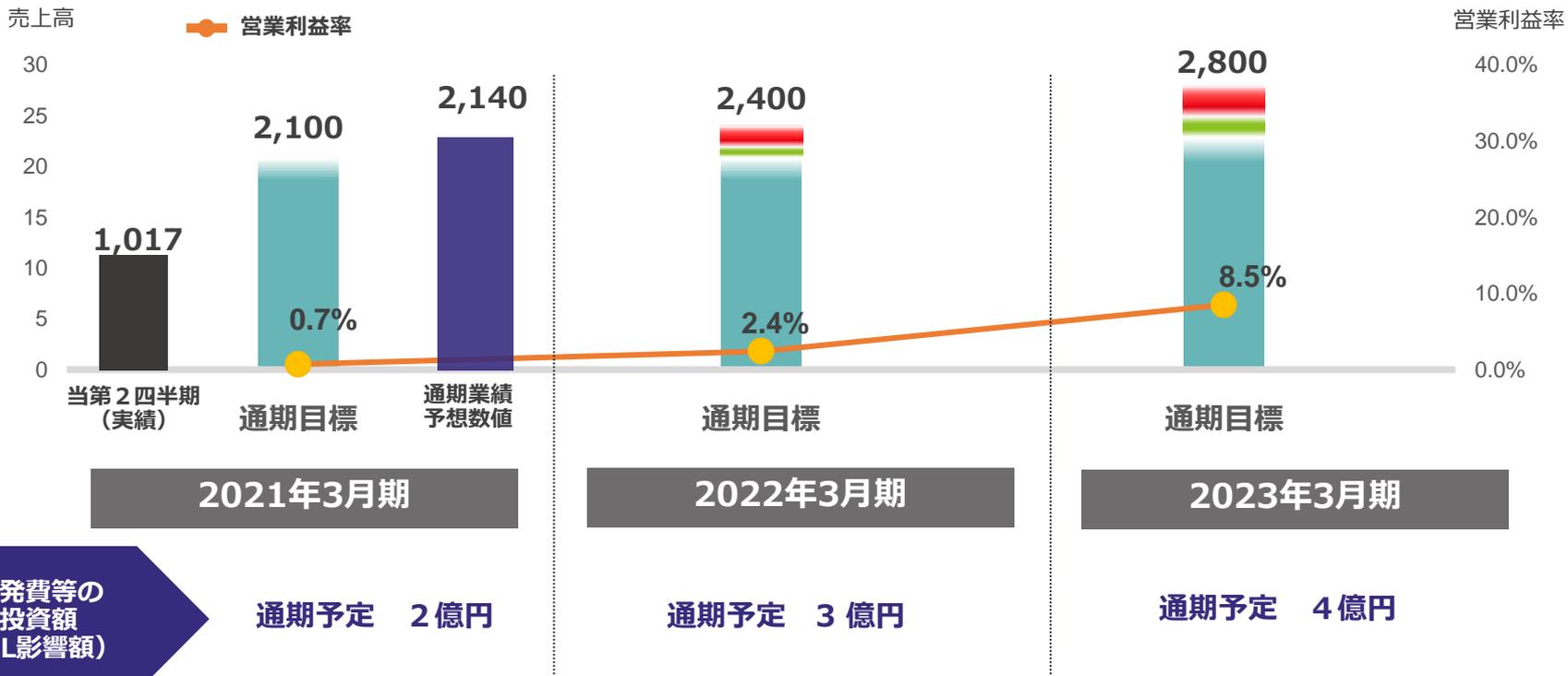
2023年3月末の売上高目標 28億円の達成を目指す

中期経営計画の進捗状況_戦略マップ



中期経営計画の進捗状況

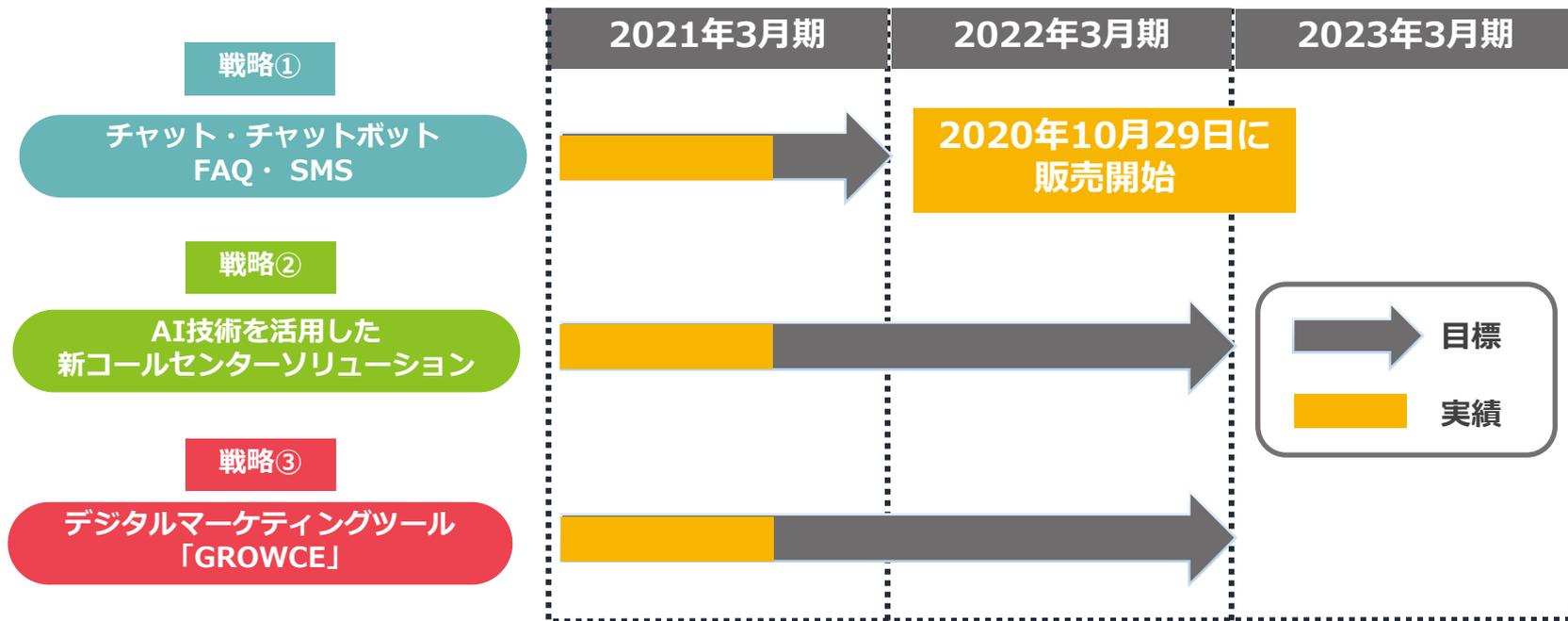
- 戦略③売上高 コールセンターに集まるデータを活用したマーケティング事業領域への参入
- 戦略②売上高 AI技術を活用した新コールセンターソリューション新リリース
- 戦略①売上高 現有サービスへの新ITソリューション追加開発
- 営業利益率



開発費等の
投資額
(PL影響額)

中期経営計画の進捗状況

戦略①はサービス提供を開始。戦略②と③については、人的リソースの補強及び機能や内容の拡充等に伴って、投資タイミングを変更。最終納期に変更はなし。



中期経営計画の進捗状況_成長戦略①

クラウド型コールセンター向け コラボスの 2つの新サービス と コラボスフォンの新機能



現有サービス
と連携可能！



これらの要望を解決できるサービス

<お客様の要望>

- ・ 時間や場所の制約なく気軽に問い合わせたい
- ・ 早く回答が欲しい
- ・ 通話料や待ち時間を減らしたい

<コールセンター側の要望>

- ・ できるだけ自動化したい
- ・ オペレーターの対応時間を削減したい
- ・ 人手不足の解消

- 1 会社概要
- 2 決算概要 (2021年3月期 第2四半期)
- 3 中期経営計画の進捗状況
- 4 業績予想 (2021年3月期_通期)

業績予想(2021年3月期_通期)

第2四半期は、中期経営計画の投資タイミング等の一部見直しにより上方修正。通期の売上高は、現有サービスを主軸に伸長。営業利益は、中期経営計画の投資を引き続き見込むため据え置き。

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期			前年同期比	
	第2四半期 (実績)	通期 (実績)	第2四半期 (予想)	第2四半期 (実績)	通期 (予想)	第2四半期 (実績)	通期 (通期)
売上高	1,012	2,019	1,015	1,017	2,140	0.5%	6.0%
営業利益	100	191	10	63	15	▲36.7%	▲92.2%
経常利益	99	190	7	65	12	▲34.1%	▲93.7%
当期(四半期) 純利益	44	85	2	42	5	▲3.4%	▲94.1%

業績への影響（プラス要因）

- 既存顧客における官公庁の給付金業務受注や国勢調査案件などのブース拡張による数百席規模の増席
- EC・通販需要の高まりによる増席
- コロナの3密対応で人と人の間をあけるための拠点追加
- 小売業を対象とした採用関連業務の拡大による拠点追加

業績への影響（マイナス要因）

- 緊急事態宣言下の一時的なコールセンター閉鎖による月額費用の一時的な減少
- 新規顧客における構築の納期変更等の影響による売上高の減少。

事業運営（オペレーション）への影響

- 打ち合わせや出張、セミナー、会社説明会等は極力オンラインの利用を推進。
- 出社と在宅勤務の併用、ソーシャルディスタンスの維持。

【補足】自己株式の取得について

2020年11月6日開催の取締役会におきまして、自己株式を取得することを決議しております。

1. 自己株式の取得を行う理由

今後の株主還元の一環として、また、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため、自己株式の取得を実施いたします。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 75,000 株 (上限)
(発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 1.57%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 60,000,000円 (上限) |
| (4) 取得期間 | 2020年11月9日～2020年12月23日 (予定) |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付け |

(ご参考) 2020年9月30日時点の自己株式の保有状況
発行済株式総数 (自己株式を除く) 4,790,968株
自己株式数 32株

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により今後変動すること可能性があります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性が存在しますことを、予めご了承ください。

〈お問合せ先〉

株式会社コラボス

管理部 総合企画課 IR担当

TEL:03-5623-3473 ir@collabos.com